

科目ナンバー： BC4033

授業コード： 2230400300

講義科目名称： 対象別公衆衛生看護活動論Ⅱ

英文科目名称： Public Health Nursing Activities Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	保健師課程必修
担当教員			
高林知佳子、◎前川絵里子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】 【氏名】 高林 知佳子 ◎前川 絵里子	【所属】 新潟県立看護大学 同上	【研究室】 304 307	【メールアドレス】 takabaya@niigata-cn.ac.jp maekawa@niigata-cn.ac.jp
実務経験のある教員が担当します。				
【本学の科目区分】 専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 保健師課程				
【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎ ○				

到達目標	1. 難病、精神障害、各種障害による特有の症状と疾患の特性から生じる生活の困難について説明できる。 2. 難病、精神障害をもつ個人・家族が抱える問題に応じて社会資源とつなぎ、支援体制を確保する方法を説明できる。 3. 難病、精神障害の症状の進行に応じた公衆衛生看護活動を説明できる。 4. 難病、各種障害および心の健康づくり（自殺等の支援ニーズの高い健康課題をもつ人々）に対する支援体制を確保する方法を説明できる（公衆衛生看護活動計画を立案できる）。			
授業概要	健康課題別の保健福祉サービスの諸制度との中で機能する公衆衛生看護活動、健康問題を持ちながら地域で生活する人たちのQOLを高める援助、制度の中で果たしている看護の役割を学ぶ。この授業の最後には、健康課題別の公衆衛生看護活動を考える演習を通し、障害および難病を持ちながら地域で生活している人と家族に対する公衆衛生看護活動、心の健康づくりのための公衆衛生看護活動についての学びを深める。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：在宅障害者の保健福祉施策と公衆衛生看護活動を理解する。 障害を持ちながら地域で生活していく中で感じる困難やニーズを理解する。 学修内容：1. 障害児者保健の動向 2. 障害児者に対する施策（障害者総合支援法、地域共生社会） 3. 障害児者に対する公衆衛生看護活動 4. 演習（公衆衛生看護活動計画）の対象について 事前学修：テキストの障害児（者）保健医療福祉活動（p152からp172まで）を一読する。特に「実践場面から学ぶ（事例紹介）」（p166からp167まで）を読み自身の考えをまとめる。授業で自分の考えを記述し他学生の考えを共有する。 事後学修：授業内容を振り返り、特に「実践事例から学ぶ」の他学生の考えと自身の相違点や学びを確認する。 備考：前川		
	2	授業内容 授業形態：講義 学修課題：精神障害者の地域生活を支えるための公衆衛生看護活動を理解する。 学修内容：1. 精神障害者保健の動向 2. 精神障害者に対する施策 3. 精神障害者に対する保健師による公衆衛生看護活動 事前学修：テキストp114からp127までを熟読し、精神障害者保健の動向、精神障害者に対する施策、精神障害者に対する保健師による公衆衛生看護活動と訪問看護師の支援の違いについて調べる。 事後学修：テキストp114からp127までを読み返すとともに、授業資料に示した「本時の事後学習」の内容について整理する。 備考：高林		
	3	授業内容 授業形態：講義 学修課題：心の健康づくりのための公衆衛生看護活動を理解する。 学修内容：1. わが国の自殺の現状		

	2. 心の健康づくりに対する施策 3. 心の健康づくりに対する公衆衛生看護活動 4. 演習（公衆衛生看護活動計画）の対象について 事前学修：テキストp128からp138までを熟読し、心の健康課題と支援について調べる。 事後学修：テキストP128からp138までを読み返すとともに、授業資料に示した「本時の事後学習」の内容について整理する。 備考：高林 4 授業内容 授業形態：講義、討論 学修課題：難病を抱える療養者と家族に対する公衆衛生看護活動を理解する。 学修内容：1. 難病対策の経緯 2. 難病療養者・家族の抱える問題 事前学修：テキストの難病保健活動（p174からp198まで）を一読し、特に「実践場面から学ぶ（事例紹介）」（p193からp194まで）を読み自身の考えをまとめる。 事後学修：授業内容を振り返り、提示された事例への支援に対する他学生の考えと自身の相違点や学びを確認する。 備考：前川 5 授業内容 授業形態：講義、グループワーク 学修課題：難病を抱える療養者と家族に対する公衆衛生看護活動を理解する。 学修内容：1. 難病療養者数の動向 2. 難病療養者・家族への公衆衛生看護活動 3. 演習事例について 4. 演習（公衆衛生看護活動計画）の対象について 事前学修：テキストの難病保健活動（p174からp198まで）を一読し、特に「実践場面から学ぶ（事例紹介）」（p193からp194まで）を読み自身の考えをまとめる。 事後学修：授業内容を振り返り、提示された事例への支援に対する他学生の考えと自身の相違点や学びを確認する。 備考：前川 6 授業内容 授業形態：グループワーク 学修課題：障害、難病を抱える療養者と家族に対する公衆衛生看護活動、心の健康づくりのための公衆衛生看護活動を考える。 学修内容：1. 障害（身体障害、知的障害）・難病を抱える療養者と家族が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるための公衆衛生看護活動計画、心の健康づくりのための公衆衛生看護活動計画の作成 事前学修：事前（1～5回の授業）で示される演習（公衆衛生看護活動計画）の事前情報を読み、また各自で必要な公衆衛生看護活動計画に必要な情報（例：市町村健康増進計画、市町村障害福祉計画、都道府県自殺対策計画）を調べ入手しておく。 事後学修：8回目授業の発表準備を行う。 備考：前川, 高林 7 授業内容 授業形態：グループワーク 学修課題：障害、難病を抱える療養者と家族に対する公衆衛生看護活動、心の健康づくりのための公衆衛生看護活動を考える。 学修内容：1. 障害（身体障害、知的障害）・難病を抱える療養者と家族が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるための公衆衛生看護活動計画、心の健康づくりのための公衆衛生看護活動計画の作成 事前学修：事前（1～5回の授業）で示される演習（公衆衛生看護活動計画）の事前情報を読み、また各自で必要な公衆衛生看護活動計画に必要な情報（例：市町村健康増進計画、市町村障害福祉計画、都道府県自殺対策計画）を調べ入手しておく。 事後学修：8回目授業の発表準備を行う。 備考：前川, 高林 8 授業内容 授業形態：講義、討論 学修課題：障害、難病を抱える療養者と家族に対する公衆衛生看護活動の実際を理解する。 学修内容：1. 障害、難病を抱える療養者・家族に対する公衆衛生看護活動の実際 2. 公衆衛生看護活動計画に対する総評、意見交換 事前学修：グループ内で協力し発表準備を行う。 事後学修：他グループの発表および総評を振り返り、自身の新たな学びを確認する。 備考：前川, 高林, ゲストスピーカー（上越市すこやかなくらし支援室）
評価方法、評価基準	到達目標 1 ～ 3 に対して、試験 75 % により評価する。 到達目標 4 に対して、公衆衛生看護活動計画 25 % により評価し、具体的な評価方法・評価基準（25項目・各1%で評価する）は講義時に説明する。
必携図書	中谷芳美, 他（2024年）：標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動, 改訂第5版, 医学書院.
参考図書・資料等	一般社団法人厚生労働統計協会（2025年）：国民衛生の動向 2025/2026, 一般社団法人厚生労働統計協会.
受講、課題、資料配布等のルール	受講：始業時間から20分以上遅刻した場合を欠席とみなす。 課題：公衆衛生看護活動計画をグループで作成する。具体的な方法、様式等は講義時に説明する。 資料配布：各講義時に配布する。
教員からのメッセージ	地域で生活する障害者に対する公衆衛生看護活動の方法については、既に学んだ臨床看護の科目、地域生活看護の科目の知識を基礎とするので復習を十分にしておいて本科目に臨んで欲しい。また地域住民の生活と健康を守る保健医療福祉の法律や制度は、毎年のように改正が行なわれるため、社会の動きにも目を向けながら興味と関心を持ち学修することを期待する。 双方向の授業にするために学生とディスカッションしながら授業を展開する。
オフィスアワー	随時(事前にメールで調整)